

寄贈図書リスト

- ① 彷徨える現代を省察する 科学者の世界の見方，池内了，四六判，312ページ，2,000円＋税，而立書房

- ② シリーズ＜宇宙物理学の基礎＞第6巻ブラックホール宇宙物理学の基礎 [改訂版]，小島康史・小出眞路・高橋芳太，A5判，416ページ，3,800円＋税，日本評論社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛にお送りください。折り返し，受領の連絡をいたします。

人事公募

岩手大学工学部 准教授（女性限定）

1. 募集人員：准教授（女性限定）1名
2. (1) 所属部門・所属講座：理工学部物理・材料理工学科数理・物理コース（学士課程），総合科学研究科理工学専攻数理・物理コース（修士課程），理工学研究科自然・応用科学専攻数理・物理科学分野（博士課程），(2) 勤務地：岩手県盛岡市
3. 専門分野：天文学，素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理に関連する理論/実験
4. 職務内容・担当科目：学部・大学院での教育，研究指導，物理学，物理学実験などの専門基礎科目，現代物理学，物理数学演習，卒業研究などの専門科目等。
5. (1) 着任時期：2024年10月1日，(2) 任期：なし
6. 応募資格：(1) 女性に限る，(2) 博士の学位を有する方，(3) 教育研究指導と先進的な研究を推進できる方，(4) 教育の遂行に必要な日本語と英語の能力のある方，(5) 大学構成員として適切に組織運営を担うことができる方
7. 提出書類：(1) 履歴書，(2) 教育業務経験の概要（A4約1枚），(3) 研究業績リスト（学術論文，国際会議論文，口頭発表等に分類して記載），(4) 代表的論文の別刷5編以内（コピー可），(5) 研究業績の概要（A4約2枚），(6) 外部資金獲得状況の一覧，(7) 着任後の教育と研究に対する抱負，(8) 照会可能者2名の氏名・連絡先，(9) その他参考となる資料（学協会の委員等）

8. 応募締切：2024年4月30日(火) 必着
9. 提出先・問合せ先：020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5 岩手大学理工学部物理・材料理工学科数理・物理コース 石垣剛，Tel. 019-621-6817, E-mail. ishigaki@iwate-u.ac.jp
10. 応募上の注意：封筒に「准教授（素粒子・原子核・宇宙分野）応募書類在中」と朱書き簡易書留で送付してください。応募書類は返却いたしません。詳細は <https://www.iwate-u.ac.jp/upload/565.pdf>を参照してください。

研究会・集会案内

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター／国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局 第15回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市に跨ってある32mパラボラアンテナ2基は，衛星通信アンテナから電波望遠鏡へのアップグレードがなされ，日本・東アジアVLBIの主要施設として，国際的に優れた天文学研究の成果を挙げています。子どもたちを含め，多くの地域のみなさんに宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え，今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2024年4月27日(土) 12～16時（雨天決行）

場所：茨城県高萩市石滝627-1

（さくら宇宙公園内）

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催：茨城大学

共催：国立天文台

後援：高萩市教育委員会（いきいき萩っ子育成事業）、
高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観
光物産協会

内容：パラボラアンテナ施設・地下道見学（12:00-
14:30）、4次元シアター（12:00-13:30）、
講演「パラボラアンテナで観る天の川銀河のふ
しぎ」（酒井大裕 [国立天文台 水沢VLBI観
測所特任助教]）（14:30-16:00）

受付：施設見学は開催時間中随時受付。4次元シア
ター最終受付は13:00。講演会は先着100名
14:00より受付。

参加料：無料

アクセス：

[1] 鉄道：JR 常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学
園高萩キャンパス前（約8分）下車、徒歩約
10分

(3) MyRideのるる（オンデマンドバス）利用：
さくら宇宙公園下車すぐ

[2] 乗用車：常磐自動車道 高萩インターもしくは
日立北インターより

高萩市街方面約15分9km、明秀学園高萩キャン
パス前を山側住宅街に曲がり600m先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可

注意：アンテナ見学は動きやすい服装、靴で参加くだ
さい。

問い合わせ：

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター

〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

メールアドレス：infoast@ml.ibaraki.ac.jp

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

訃 報

会員の鷺見治一氏は2023年8月13日に逝去さ
れました。満83歳でした。ご冥福をお祈り申し
上げます。

編集委員会より

天文月報記事投稿用アップローダー

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/
author_submission/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/)

■ログイン

ユーザー名：geppou パスワード：toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面で必要事項を埋めてください。す
るとアップロードに進むことができます。できる限り
ファイルは1つにまとめてください。ファイルが複数
ある場合は「複数のファイルを投稿する」ボタンを押
してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり
全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信でき
ます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推
奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送
りください。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。
したがってcookieを受け取らないブラウザでは使え
ません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロード
ボックスはjavascriptを利用していますのでjavascript
が使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合はtoukou@geppou.asj.or.jp までメールで
ご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.
asj.or.jp までお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート

SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀などのご執筆にあ
たりましては、日本天文学会HP内「天文月報」の
ページにあります「投稿用テンプレート」をご活用く
ださい。

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author-
template/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author-template/)

TeX・LaTeXで執筆される方はテンプレートをオン
ライン上またはダウンロードしてご利用ください。

月報だより・寄贈図書リスト

MSWordで執筆される方はwordテンプレートをダウンロードしてご利用ください。また、ご執筆の前に必ず「執筆マニュアル」をご一読ください。
https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_manual/

texをご利用される場合は、あわせてreadmeもお読み下さい。

また、ご利用にあたって不具合を発見された方は、編集委員会までご連絡をお願い申し上げます。

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名: asj2024

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol117** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 津村耕司 (委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典,

日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 鳥海森, 信川久実子, 橋本拓也, 宮本祐介

令和6年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2024年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)